

NO 3	京都市新庁舎整備		京都市	
提案概要	既存市庁舎の保存改修・建替・新築による新庁舎整備プロジェクト。歴史的建造物の本庁舎を保存しつつ、省CO2技術を導入するレトロフィット型環境配慮庁舎、豊かな水資源を始めとする自然エネルギーを有効活用する次世代型環境配慮庁舎を一体的に整備し、京都の顔となる市庁舎を目指す。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	西庁舎、北庁舎、分行舎	所在地	京都府京都市中京区
	用途	事務所 その他(店舗)	延床面積	43,912 m ²
	設計者	京都市都市計画局公共建築部公共建築建設課株式会社日建設計	施工者	未定
	事業期間	平成28年度～平成34年度		

概評	既存建築を生かした省エネルギー改修、バランスのよい省エネルギー対策と各種再生可能エネルギーを活用した新庁舎建設を一体的に行う取り組みは、庁舎建築として波及・普及が期待できるものと評価した。国内外の来訪者や地域の企業等に対する波及・普及の取り組み、ZEB化に向けた進捗状況の公表を期待する。
----	--

参考図

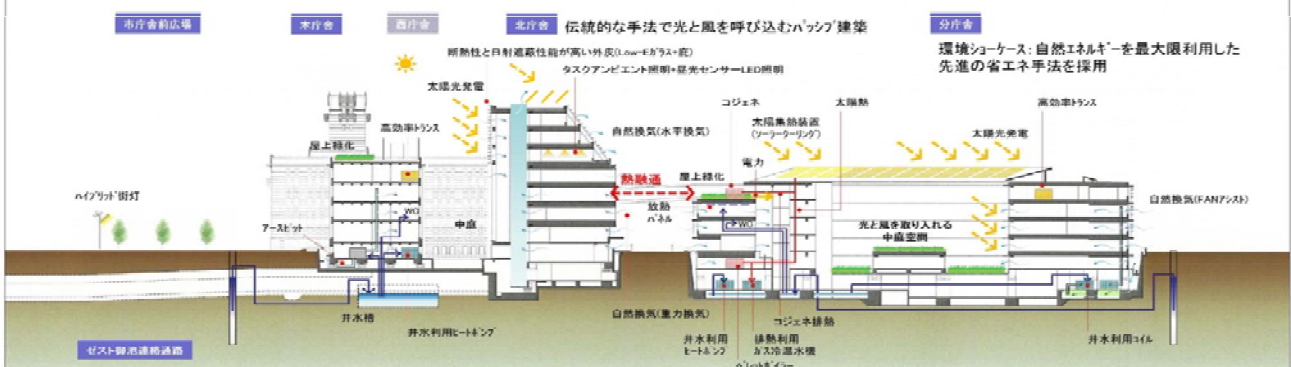


環境計画の概要

環境モデル都市「京都」の顔として、「京都の豊富な自然の恵み」「高効率なシステム」「運用の最適化」「創エネルギー」により、庁舎のZEB化を目指します。

※ZEB：ネットゼロエネルギービル

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1 京都の豊富な自然の恵みを利用します(課題4)
(1) 井水利用ヒートポンプ
(2) 木製受水槽
(3) ペレットボイラ、ペレットストーブ
(4) 放射冷暖房
(5) 自然換気、ナイトバージ
(6) アースピット | 2 高効率なシステムを目指します
(1) 高効率トランス
(2) LED照明、昼光センサー
(3) 高効率ヒートポンプチャージ
(4) ガスコージェネレーション | 3 運用の最適化を図ります(課題4)
(1) エネルギーの見える化
(2) BEMS(ビルディングエネルギーマネジメントシステム)
(3) 街区間での熱融通 | 4 創エネルギーに取り組みます(課題2)
(1) 太陽光発電
(2) ハイブリッド街灯(太陽光+風力)
(3) ガスコージェネレーション |
|--|---|--|--|



<建築物の省エネルギー性能>

- ① 目標とする一次エネルギー消費量(BEI)：本庁舎敷地0.72、分行舎敷地0.57
- ② 建物の外皮性能(BPI)：本庁舎敷地0.830、分行舎敷地0.902